

さつまいもの女王 「紅赤いも」発見から110年

秋になると何故か懐かしさを感じる「さつまいも」は、町の特産品です。その代表的な品種「紅赤」（俗称金時）が発見されて、今年で110年を迎えました。

さつまいもは、ふかしたり、天ぷらにしたりと調理方法は様々ですが、何と言っても究極は、ホクホク感最高の焼き芋でしょうね。その「さつまいも」川越いもから富のいもと賞賛されるまでに到った軌跡をたどってみました。
問い合わせ 産業振興課（内線213）



●紅赤はさつまいも、

さつまいもの品種を見ると、ほとんど全部とっていいほど、国や県などの試験場で研究された育成品種ばかりです。そんな育成品種でさえ数十年も長く生き残る品種は、1〜2品種です。このようなか中で、農家の主婦が偶然発見し今だにファンを持ち続け百年以上も生き続けている在来品種の紅赤の存在は全く貴重としか言い様がありません。

●紅赤の特性

形はコッペパン形（長紡錘形）で整一であるが、大小不整でくずいもが出来やすい。美麗で外観良好。肉質は黄色濃く粉質。でん粉歩留は源氏に次ぎ高いが、いも収量は低く、収量を犠牲にした良質良品です。施肥及び気候に対する適応性が小さく、栽培の難しい品種です。その適地は、関東洪積台地であります。

●関東地方への進出

関東地方でさつまいもが初めて作付けされたのは、江戸時代。享保の改革で知られる八代将軍徳川吉宗のころのことです。

享保20年（1753年）江戸の学問好きの町人、青木昆陽がさつまいもは救荒作物として優れていることを幕府に進言しました。まだまだ農業技術が発達していなかった時代で、日照りなどの天候異変が続くと凶作に見舞われ、しばしば大飢饉となっていました。

そんな状況の中で、さつまいもの作付けが成功すれば多くの人々を救済できると考え、幕府ではこの進言を取り上げ、青木昆陽を薩摩芋御用掛に任命しました。そして、小石川御菜園（現小石川植物園）で試作させ、栽培に成功しました。その後も青木昆陽は作付けの研究と普及に努め、人々に「甘藷先生」と慕われ、たいへん感謝されました。

●紅赤の発見

さつまいもの中で一番旨いと言われているのが紅赤です。実はこの品種、北足立郡木崎（現さいたま市）の農家の主婦山田いちが、一八九八年（明治31年）に八ッ房という品種の中から7株の突然変異種として発見したもので、形も味もすばらしかったため大評判になりました。

この発見されたまっ赤なさつまいもを、いちの甥である吉岡三喜蔵が「紅赤」と名づけ、それを広めることを使命とし、懸命に働き、そのため、紅赤は関東一円に普及し「さつまいもの女王」とうたわれるようになりました。

昭和6年（1931年）山田いちは財団法人協会の「第一回富民賞」の受賞者となりました。

これは、わが国の農業の発展に貢献した人に贈られるもので、農業関係では最高の賞であります。

●三芳とさつまいもと紅赤

昔より、「川越いも」の本場といえ、三芳町の上富（所沢市中富・下富を含む）で採れるさつまいも「富のいも」のことを言うのが通例となっていました。

青木昆陽が作付に成功した16年後の寛延四年（1751年）南水井（所沢市）の名主吉田弥右衛門



また、平成18年には、新しい試みで「富の紅赤」なるブランドで紅赤を原料とするいも焼酎作りも手掛け、今年で3年を迎えることになりました。これからも更なる品質の向上を求めて研究していくと共に普及することを願うところです。

●永遠に

江戸の人は「川越いも」のことをしゃれて「十三里」とも呼びました。この呼び名の由来は「栗（九里）より（四里）うまい十三里」ということで川越から陸路十三里で江戸に運ばれたからだと言われています。



が試作に成功しこれが急速に付近の村々に広まりました。

吉田家に残されている古文書には「さつまいも作り初めの事」としてさつまいもを作り始めたことが記されています。

上富武田家には、その当時の村のさつまいもの作付け内容がわかる古文書があります。

大正期に入ると、それまでの赤蔓・青蔓の二品種から、紅赤種を中心とした作付けへと栽培を移していきました。

その後貯蔵法の進歩や紅赤品種の改良が進み味の優れた紅赤を作るようになりました。焼芋用にも適していたため、急速に拡まり、川越いもと言えば紅赤種に取って代わっていったようです。さつまいもは、循環型農業の代表作物です。



三芳にさつまいもが作付けされてから間もなく260年、紅赤が発見されてから110年を迎え、歴史の重さを感じずにはいられません。

間もなく、三芳町の特産物であるさつまいも（紅赤）の収穫期となります。上富のケヤキ並木には「富の川越いも」と染め抜かれたのぼりが並ぶ様子は三芳町の風物詩でもあります。

ご家族・お友達で秋の味覚を求めて、さつまいもの故郷を散策してみたいかがでしょうか。

